

鳥取西高近畿同窓会報

第 9 号
2017年3月1日発行

発行：鳥取西高近畿同窓会
発行責任者：米澤道隆（西高 39 年）
編集責任者：山内紀嗣（西高 43 年）



第五十三回総会 開催される

第五十三回近畿同窓会を遠路母校より山本英樹副校長、蔵多敏夫総務部長（西高五十一一年）、同窓会より小谷文夫会長（同四十七年）、そして県の関係機関から吹野之彦鳥取県関西本部副本部長をお迎えし、平成二十八年六月十九日（日）大阪キャッスルホテルにて総勢五十七名出席のもと賑やかに開催しました。

特に今回は二名の方がご家族の付き添いで出席され、同窓会への強い思いを感じる総会となりました。

まず総会の部では、米澤道隆会長（同三十九年）から、「皆様のご協力により懸案であった・久松山下の青春と伝統」をテーマとする寄稿集「久松山下 青春の思い出」創刊号を今春お届けできた。西高時代三年間の貴重な証言集として後世に残していくので、今後ともご協力を」との要請があり、近畿同窓会のさらなる発展、充実を図っていききたい、との挨拶がありました。

議事では、事務局より平成二十七年年度決算報告と小谷繁昭監査（同四十三年）から会計監査報告を、続いて平成二十八年年度予算案についての提案を行い、満場一致で承認されました。

また各ご来賓の皆様からお祝いの言葉をいただきましたが、中でも山本副校長から、校舎は現在地での存続も決まり、耐震工事中であり仮校舎にて授業を行っている、又お堀に架かっている擬宝珠橋は復元工事のため武道館横にできた仮設道路にて通学しているとの現状報告がありました（完成は平成三十年の予定）。

懇親会の部は、高野泰明名誉会長（同二十五年）による乾杯の音頭でスタート。懇親会を大いに盛り上げたのは植村京子さん（同三十四年）、足立伸之助さん（同三十四年）の二人による箏と尺八演奏、また、昨年に引き続き岩永建夫さん（同四十二年）のテナーサクソのソロ演奏と恒例となった四十二年卒を中心とする「にわかバンド」の演奏があり、さらに会場を沸かせました。

近畿同窓会事務局 村江信幸（西高四十二年）

第53回鳥取西高近畿同窓会出席者

（卒業年次順、敬称略）

一中：川口重義、田中 勲

高女：山根立乃、浜本英子、福山のぶ子

西高：高野泰明、西原章恵、村山龍夫、武田彰正、中嶋照夫、米田登美子、奥谷祐一郎、佐々木清臣、田井 勇、足立伸之介、植村京子、尾崎宗昌、佐伯宏志、中原悠司、清末直行、高野彰允、井上 昌、米澤道隆、頼政恵美子、宇都宮栄子、岩永建夫、田口 徹、安宅寿昭、江阪詩朗、久保美知子、小谷繁昭、谷口正夫、本家公一、水谷陽子、村江信幸、安田裕美、山内紀嗣、山本雅章、庄田英一、松岡孝道、松尾三紀子、山田陽子、岡本貞恵、田淵道幸、森原政博、岩井順一、尾崎充典、松本麻希年、加藤敏明、勢川洋之、山根康子郎、浦川ひかり



第54回鳥取西高近畿同窓会のお知らせ

期 日： 平成29年6月25日（日） 11:00～15:30

受付は 10:30 より

会 場： 大阪キャッスルホテル6階
大阪市中央区天満橋 1-1 Tel 06-6942-2401

①総会：11:00 ②懇親会：12:00～15:30

会 費： ￥7,000 〈会場にご持参下さい〉

（29歳以下の会員は 5,000 円）

恒例の長寿（満80歳）のお祝いをします

副会長山崎好子さんを偲んで

近畿同窓会会長

米澤道隆（西高三九年）

長年にわたり近畿同窓会の発展に貢献された山崎好子さん（高女昭和九年卒）が平成二八年四月八日、亡くなられました。享年百歳でした。

「米澤さん、事務局のお世話は大変ですが、ど宜しく願います。特に一中のおじ様方の中にはあれこれとうるさく注文をつける方が多いですが、悪意があつてのことではなく、同窓会を楽しみにして且つ会の発展を願つてのことなので気を悪くならな

いでね」。これが氏との最初の会話でした。（実は翌年の総会から早速先輩諸氏の洗礼を受けることとなったが氏のこのアドバイスのお陰で冷静に対応できました）今から二二年前の一九九五年（平成七年）十月五日のことです。これに先立つこと約二か月前の七月一日に近畿同窓会会長をされてい



高女の校歌を歌うありし日の山崎さん

（写真右端）

た澤蔵さん（当時日本交通社長、一中五二回昭和一五年卒）が急逝され、次期会長をお願いすべく役員幹事の皆さん（確か一〇名近く）が当時三洋電機の社長をされていた高野泰明氏（現名誉会長、西高第一回昭和二五年卒）のもとへ就任の要請にいられたのです。同じ会社勤務し、たまたま同じビルにいた私は急遽役員応接室に呼ばれ当時の社長である高野さんから「西高近畿同窓会の会長を引き受けることになった、君すまんが事務局を担当してくれ」これが私と近畿同窓会を結ぶ原点となりました。約一〇名の皆さんの中に紅一点、当時すでに八〇歳近かつたと思いますが六〇代後半にしか見えない長身で凛とした女性がみえました。この方が副会長をされていた山崎好子さんでした。爾来二〇数年にわたり高女の代表としてそして会の発展を願う強い思いも併せ本心に物心両面から近畿同窓会を支えていただきました。特に野球部が平成一七年、甲子園に出場した際にはご高齢だったにも拘わらず率先して激励会に駆けつけられた姿が印象に残っています。後日談ですが、氏のお父様は昭和初期、鳥取高農（現鳥取大学農学部）の校長をされていた教子（当然一中卒のOB）が近畿同窓会にも多く在籍されていたと聞きました。又、同窓会名簿によれば昭和九年高女卒業後、東京の「日本女子大」へと進まれたようです。日本女子大と言えは平成二七年一〇月〜平成二八年三月までNHKで放映された朝の連続ドラマ「あさが来た」で主人公のモデルとなった明治の女傑・広岡浅

子を中心となって設立した当時としては珍しかった女子大です。氏の向学心はもとより教育者としてのお父様の影響も大きかったのではと拝察しています。そして氏は三月のドラマ終了を見届けるかのように翌四月にお亡くなりになりました。ここに近畿同窓会を代表して生前の氏のご尽力に対し感謝申し上げますと共に謹んでご冥福をお祈りいたします。

私の健康法

佐々木清臣（西高三〇年）



昭和一一年五月三日生まれの私は数え歳で八二歳になり、自分でも驚いています。

大阪市生まれで、学童疎開で現鳥取市福井に母方の祖父母の所に、昭和一九年七月に行き、昭和三〇年鳥取西高を卒業するまでの鳥取で育った十一年間が、今思うと本当に色々体験し、特に祖父母と三人一緒にいた八ヶ月が、初めての田舎が山あり、川あり、湖あり、童謡の故里（ふるさと）そのもの、詩の如く、のんびりと又きびしく育った事が本当に現在の健康の基礎となりました。

あまり上手ではありませんが七〇歳迄、小学校の先生にまじって、よく交流しました。（学校薬剤師として現在も四校を担当しています）。

また、大阪で一番高い金剛山（一一二五呎）に昨年までに六〇六回登りましたが、卒業しました。

畑も五〇歳から近くに坪借りして花やら野菜を年間二〇種以上を作っています。が、変わった畑の利用法参考のために書きますと、八〇cm位の広い畝に一cm間隔に水菜、ホウレン草、二十日大根など（三筋にします）サラダになどすぐに役立ちます。キュウリ等は最初は育つたものを苗屋で買いますが、六〜七月になりますと、種から蒔くと良くできます。正月によく利用されるクワイ等もバケツ、漬物タル等に、土を三分の一位、肥料と混ぜ合わせ、夏頃追肥をして水を切らさないようにしておく、正月に沢山できます（一つのバケツに五株位と思います）。

二八歳で薬局を開店し、七二歳で閉店した後は、二〇歳の時死別した母が行きたがっていた四国八十八ヶ所巡りを始め、西国三十三ヶ所、中国三十三ヶ所、北陸三十三ヶ所、近畿不動尊、最近近畿寺社一五〇ヶ所巡り等、沢山の朱印もいただきましたが、これも一昨年に卒業しました。現在は大学時代の友人四人で月一回の昼食をした後、カラオケを二時間余り楽しんでます。

以上、とりとめのない事を書きましたが、次の三つの事を毎日意識しています。

- ①呼吸法は必ず鼻から息を吸い（口からはダメ）、口からゆっくり吐く（ヨガ、禅も同じ）。
- ②つまさき立ち（片足立ちも含む）。
- ③正座（背筋を伸ばす）。



西高卒業五〇周年

石田正純(西高四一年)



去年、五年毎の同窓会があり、最後の同窓会を在住の同僚達が段取りしてくれて参加しました。

田舎の五男坊で、外に出て行くしかない人生でしたが、波乱万丈(自分なりに)、百姓、土建屋等在学中からやれたので今、七〇歳になっても仕事を乐しめます。

高校卒業後も京都に出て、ガソリンスタンド、証券会社、タクシードライバー、積水ハウスの組立て等、苦にせずやれました。

教師を二八年間やり、さらにその後大学時代に取得の行政書士を開業しました。また、危険物二種第四類、大型自動車免許、京都検定三級、同二級と楽しみながら取得できました。私の人生訓である「めげない・こりない・あきらめない」の人生を送れました。

五九歳で教師を終え、自営業なら年金を削られないということで行政書士を看板に、年齢を忘れてがんばっています。八〇歳までは頑張りたいです。

鳥取のニュース

皆様は尾崎放哉をご存じでしょうか？

かれは明治一八年に鳥取市吉方町で生まれ、鳥取一中から一高、東大へと進みました。私たちの先輩に当たります。東京では夏目漱石に英語を学んだとのこと。大正一五年に小豆島で亡くなっています。一中時代から俳句を作り、大学卒業後は仕事に就き、結婚もしていたのですが、退職し、離婚してしまいました。そして極貧の中で自由律俳句を専ら作り暮らしていました。いく首かを紹介しましょう

「咳をしても一人」

「足のうら洗えば白くなる」

「いれものがない両手でうける」

「こんなよい月を一人で見て寝る」

など、五七五の定型に縛られない句ばかりです。種田山頭火と並び称される自由律俳句です。あるいは「今一休」とも言われたらしい。

鳥取市では尾崎放哉の生誕一三〇年を記念して、市内の一八九力所に石碑を建てたそうです。写真は鳥取わらべ館に建立された石碑の写真です。帰郷の折りに目にすることがあるかもしれません。



鳥取市提供

会員の近況

(昨年の返信葉書通信欄より)



川口重義(一八一三回)一昨年八月から半年、病臥しましたが元気になりました。田中勲(一八一九回)相変わらず青春謳歌、いや老人謳歌というところ。やっ

と今年も生き延びた実感を深くします。福富照代(高女一五年)年齢のわりには元気で過ごしています。五年間住んだ鳥取、なつかしく年に何回か訪ねています。

吉村芳野(高女二四年)普通に過ごすということがどんなに大変なことか、しみじみ感じております。

西原章恵(西高二五年)周りの人に心配をかけるので、健康に過ごすよう心掛けています。裏庭に少しばかりの家庭菜園を作り、植え付けます。ミニトマト、オクラ、キュウリ、ナス等々育ててゆくのを見るのが楽しみです。

中嶋照夫(西高二六年)相変わらず吹田市豊津で診療しています。八三歳になり老いを感じるようになりましたが頑張っています。幸い息子が神経内科を専攻して

おり、一緒にやってくれるようで安心していきます。マイペースで診療を続けたと思います。

勝丸真喜造(西高二七年)みかんの選定中、発芽初蕾があります。

若槻昌子(西高二八年)昼休みに久松山に駆け上ったり、二の丸公園の桜を思い出します。



倉光弘巳(西高二九年)姉(二六年)と兄(二八年)を失い、次はお前の番だと言われたように、昨春ガンが見つかり芦屋大学を辞任しました。しかし、治癒の目処がたち、一般社団法人自由大学学長として奉仕活動をしています。その他、公益法人生命科学振興会常務理事、こども園理事長、某病院の倫理委員などをしています。色弱の補正眼鏡事業、発達障害のまぶしがり事業の支援も行っています。老々介護中です。

赤松小乃江(西高三一年)西高時代の友人と時々電話連絡しています。

松本七子(西高三一年)畳の上に尻餅をつき腰を痛めて歩きづらくなりました。

市川渥史(西高三七年)鳥取藩が鳥羽伏見戦争勃発直後より新政府側について戦った歴史を知り、鳥取地方の気候風土に合わない決断をしたものだと思っています。

井上昌(西高三八年)元気にやっています。月二回のグランドゴルフに参加して楽しくやっています。

三枝弘靖(西高四〇年)七〇歳を目前にして年一回の海外旅行を楽しみにして、毎日ウォーキング等、健康維持に励んでいます。昨年は四〇年卒、五〇周年記念同窓会が鳥取で開催され、出席しました。

松本弘子(西高四〇年)現在も調剤薬局で仕事をしています。

定年がないので働けるまで頑張りたいと思います。

松本弘子(西高四〇年)現在も調剤薬局で仕事をしています。

定年がないので働けるまで頑張りたいと思います。

松本弘子(西高四〇年)現在も調剤薬局で仕事をしています。





真神敏恵（西高四〇年）孫の世話でタバタと暮らしております。

頼政恵美子（西高四〇年）現在は大阪市中心区にきもの学院を運営しております。6月末からベルギーのブルージュに文化交流に参ります。老体にムチ打ちながら頑張っています。

石田正純（西高四一年）小学校教師を退職して一〇年。今、行政書士として、テレビ番人ではなく、世間と対応できてラッキーです。近くで畑を借りて一三〇坪の土地で書庫としての小屋も建て、晴耕雨読の生活を楽しんでいます。いつまでも健康でいたいです。

河原富士夫（西高四三年）相変わらず西宮と鳥取を往復しています。

本家公一（西高四三年）二年間留学していた息子家族が隣の家に帰ってきました。二人の孫の世話で忙しくなりそうです。

小谷貢（西高四四年）昨年九月から高齢者となりましたが、まだ現役で働いております。昨年八月には皮膚ガンの手術を受けましたが、病気にも負けず頑張っております。

窪田邦倫（西高四五年）昨年、読売新聞大阪本社専務取締役事業本部長を最後に退任しました。現在、大阪芸術大学放送学科教授として学生達と楽しくキャンパスライフを過ごしています。他にもつたいない仕事を賜り、退職後もおかげさまで忙しくさせていただいています。

松尾三紀子（西高四五年）西高時代の合唱クラブの友人と谷村新司のコンサートに行ってきました。最高！

丸山幸栄（西高四五年）今年で六五歳になります。まだパートで働いています。あと何年生きられるか、そんなことをたまに考える年齢になりました。今のところは元気です。

山田陽子（西高四五年）現在、日本郵便株式会社でアルバイトをしています。

谷尾吉郎（西高四六年）大阪府急性期総合医療センターで頑張っています。二〇一七年より新専門医制度が始まりますが、その準備に忙しい毎日を送っています。

鍋浜悦雄（西高四六年）銀行員として三八年勤務。定年でリタイアしましたが、現在リそな銀行に勤務し、営業活動を行っております。

足立陽一（西高四七年）卒業して知らぬ間に四五五年が過ぎ、いつの間にか退職し、どこか他人事のように考えていたが、歳をとるということを今更のように感じています。充実感にあふれた毎日が送れたらと思っています。

坂岡隆司（西高四七年）今春、帰省の折、久しぶりに母校に寄りました。工事中とのことで遠くから眺めるだけでしたが、遠い昔の記憶が懐かしくよみがえってきました。やはり母校は久松山とお堀とセツトですね。



鳥取城天球丸

近藤圭子（西高四八年）関西で暮らして早や三十七年が過ぎました。関西人として頑張っております。

浅川滋男（西高五〇年）京大で一二年学び、奈良文化財研究所で一四年働き、公立鳥取環境大学で一五年教鞭をとりました。定年までまだ九年あります。

若井順一（西高五三年）鳥大を卒業後、京都にある（株）麗光というメーカーで働いています。

清水正俊（西高五五年）本年より第二の職場となる（と思われる）病院に勤務しております。高校の時には一三年まで室長を拝命したのですが、卒業三〇周年記念同窓会の席上で、担任の某先生から「全くおぼえてないなあ」と言われて以降、西高関連の会からは遠ざかっております。

平成27年度西高近畿同窓会 会計報告

(平成27年1月1日～12月31日)

(単位:円)

収入の項	金額	支出の項	金額
前年度繰越	1,051,293	通信・交通費	115,285
年会費収入	244,320	印刷費	117,423
総会費収入	425,000	総会費	469,619
雑収入	213	事務局費	20,883
		雑費	1,537
		次年度繰越	996,079
合計	1,720,826	合計	1,720,826

お悔やみ

小沢祥枝さん（高女九年）、山崎好子さん（高女九年）、今村吉太郎さん（西高二五年）、湖山正美さん（西高二六年）、松田康彦さん（西高二六年）、君野徹治さん（西高二六年）、河越昇さん（西高二七年）、澤田勇夫さん（西高二九年）、安藤由美子さん（西高四〇年）、山本敏和さん（西高四五年）。

謹んでご冥福をお祈り致します。

（連絡頂いた方のみ）

（事務局連絡先）

〒631-0803

奈良市山陵町236-1

携帯番号 090-3465-7203

村江信幸 宛